

複合的資源管理型漁業促進対策事業調査

ヒラメ（太平洋）

（抄録）

藤川 義一・小向 貴志

はじめに

第Ⅰ期対象魚種であるヒラメの資源管理後の漁獲動向と稚魚分布量を把握する。

結 果

1 漁獲統計調査

青森県におけるヒラメの漁獲量は、1998年には1,241トンであった。

漁獲量は太平洋海域では9～12月に、津軽海峡、陸奥湾海域では6、7月及び11、12月に多かった。

太平洋海域では刺網、小型底曳網、定置網漁業の順に、津軽海峡海域では定置網、一本釣り、刺網漁業の順に多かった。陸奥湾地海域では定置網、刺網漁業が多かった。

2 稚魚分布調査

採集されたヒラメは、全長10～160mmで、全て当歳魚と考えられた。

ヒラメの全長組成には水深5mと10mでは明瞭な差が見られなかった。

ヒラメは三沢から塩釜までの沿岸海域には、均一に分布しているものと考えられた。

今後、ヒラメ当歳魚の分布域を明らかにするため、より広範囲に調査を行うとともに、分布量のピーク時を捉えるため、より多くの調査を実施する予定である。